

2020年度 事業計画

1

生産性向上・合理化推進事業

高品質な製品づくりはもちろんのこと、生産性のさらなる向上、変種変量・短納期といった市場ニーズへの柔軟な対応など製造企業における課題は山積している。

本事業では、現場力を高める管理・改善の実践手法、ならびにそれを担う人材の能力開発をテーマに、さまざまな切り口でセミナーや研修講座を展開。「人づくり」を通じて、製造業にとっての生命線ともいえる現場の基礎固めとさらなるレベルアップを後押ししていく。

1-1 生産管理実務研修

売れるものを売れる時期に売れるだけ作るというのが企業の命題である。そのために必要な生産管理手法（生産計画、工程管理、在庫管理、原価管理など）について学ぶ。

- 〔テーマ例〕
- ・生産管理ベーシックコース
 - ・生産管理の勘所
 - ・工程管理 実践研修コース
 - ・調達購買力強化研修
 - ・生産計画の立て方と納期遅れ対策
 - ・協力業者の QCD 管理のポイント など

1-2 品質管理実務研修

品質は企業の信頼や競争力を左右する重要なテーマである。不良品の発生を抑え、また、発生しても外に出さない仕組みづくりが不可欠であり、そのために必要な技術・手法を学ぶ。

- 〔テーマ例〕
- ・品質管理 実務研修
 - ・製造現場のポカミス対策
 - ・外注部品の品質管理
 - ・QC サークル活動 再活性化のやり方
 - ・品質リスク対策の具体的な進め方
 - ・ISO9001 内部監査員養成講座 など

1-3 現場改善実務研修

過剰な在庫、作業の手待ち、装置のチョコ停など、現場に潜在するムダを徹底的に排除し、生産性を高めるための実践に活かすさまざまな改善手法を学ぶ。

- 〔テーマ例〕
- ・現場改善 実践研修コース
 - ・生産現場の不良対策セミナー
 - ・作業エリアのレイアウト改善
 - ・5S 活動 再活性化のやり方
 - ・製造現場 手待ちのムダ取り
 - ・段取り改善の進め方 など

1-4 工場管理実務研修

工場の管理・改善に必要な実務テーマを相互に関連づけ、実務者やリーダークラス、管理者までのスキルアップ研修。幅広い知識を複合的・体系的に学ぶことで、実務力の向上を図る。

- 〔テーマ例〕
- ・よくわかる製造原価のつかみ方
 - ・物流（倉庫）作業標準化への挑戦
 - ・安全衛生委員会活性化のポイント など

1-5 製造・技術系人材育成研修

製造部門・技術部門の方を対象とし、業務の進め方やマネジメント、部下の育成や教育の仕方など、幅広いテーマで開催する。

- [テーマ例]
- ・製造部長 課長研修
 - ・製造現場の部下育成の進め方
 - ・製造部門 入社2年目研修
 - ・技術者設計者 入社6か月フォローアップ研修 など

1-6 現場の基礎セミナー

「IE」「VE」「QC」といった、ものづくり現場の改善に役立つ技法を紹介するセミナー。基本を学び今後の取り組みを促す。

- [テーマ例]
- ・徹底3S（整理・整頓・清掃）
 - ・IE（Industrial Engineering）
 - ・QC（Quality Control）
 - ・VE（Value Engineering）など

1-7 工場診断・指導セミナー

製造現場を熟知したコンサルタントが工場へ出向き、現場の改善点を診断。その後、5S や見える化、ムダ取りなど、改善点を踏まえた講義を開催し、現場力の強化を図る。

1-8 工場運営 Web セミナー

工場の運営に必須である生産管理や品質管理、現場改善の基本に関するテーマを幅広く取りあげ、セミナー形式で Web 発信する。

2

技術強化・環境対策推進事業

熾烈な国際競争のなか、他社との差別化を図るためには、技術や技能にさらに磨きをかけるとともに、イノベーションにより新たな価値を創造していくことが必要である。

本事業では、製品の設計から、切削などの加工技術、機械の保全や環境技術にいたるまで、対象を細分化し、幅広いテーマを設定。また民間企業の研修施設を利用した技能研修や切削加工の基礎を学ぶ長期講座を開催するなど、技術水準の高度化、技術人材の育成に注力していく。

2-1 工業技術セミナー

機械や電気など生産技術に関する知識、金属や樹脂材料に関する知識、切削や溶接をはじめとする金属加工の知識など、あらゆる工業製品の製造に関わる技術テーマを網羅的に取りあげる。

- 〔テーマ例〕
- ・金属加工技術（板金、溶接など）
 - ・メカトロニクス要素技術
 - ・機械加工技術（切削、研削など）
 - ・NCプログラムの基本と読み方
 - ・金属材料の基本（鉄鋼、ステンレス）
 - ・電気系トラブルの診断方法
 - ・工場の電気設備 など

2-2 環境技術セミナー

企業の社会的責任として求められる環境負荷低減や温暖化防止への取り組み方を解説。あわせて知っておかなければならない環境関連の法規制についても取りあげる。

- 〔テーマ例〕
- ・工場エアの省エネ&トラブル対策
 - ・環境法規制 基礎知識と対応策
 - ・ISO14001 内部監査員養成講座
 - ・排水処理の実務 など

2-3 設計実務研修

設計は製品の品質やコストを決定づけるため、それを担う技術者のスキルアップは欠かせない。JIS規格に順じた図面の読み方、描き方、設計変更、強度設計などさまざまなテーマを取りあげる。

- 〔テーマ例〕
- ・図面の基礎（読み方、寸法公差）
 - ・機械加工治具製作のポイント
 - ・図面チェックの進め方
 - ・設計変更のチェックポイント
 - ・機械設計技術基礎講座
 - ・強度設計のための基礎知識 など

2-4 技能開発訓練

知識を習得するだけでなく、実際の現場での技能を身につける研修を開催。研修施設を持つ企業と提携し、専門の指導員による技能訓練を行い現場作業者のレベルアップを図る。

- 〔テーマ例〕
- ・機械保全 実践力強化研修
 - ・空気圧技術 実践研修
 - ・PLC 実習
 - ・シーケンス制御 実践セミナー など

2-5 切削加工スクール

切削加工は機械部品の製作において必須の加工法である。しかし最近では、工業高校や大学の機械系学部の教育現場でさえ学ぶ機会が減っており、現場に配属されて初めて接するような状況にある。本講座では、切削加工技術者に必要な知識を体系的に把握・理解することを目的として夜間 17 回の講義、メーカー技術者による 5 回の特別講義、8 回の実習、2 回の工場見学を組み合わせた 7 ヶ月間のプログラムを編成。実施にあたっては、大阪工業大学工学部の協力を得て、経験豊富な講師陣を迎えるとともに大学が保有する実習機を活用し、より実践の場で役立つ内容とする。

〔講義研修〕 金属材料、切削加工、図面といった技術の基礎知識に加え、
工具や油剤メーカーの技術者による実務講義（夜間に実施）

〔実技研修〕 旋盤、立フライス盤、ボール盤、NC 加工、測定実習の 5 科目
（大阪工業大学ものづくりセンター〈モノラボ〉で実施）

〔見学研修〕 工作機械メーカーとして DMG 森精機(株)を訪問
切削ツールメーカーとして大昭和精機(株)を訪問

2-6 省エネ情報セミナー

エネルギー消費量の多い工場のみならず、中小の事業所・工場の立場においても時代の変化に応じた省エネ技術へのハード面・ソフト面のアプローチが求められる。企業への情報提供の一環として、ボイラやコンプレッサといった工場設備の電力コストを削減するための方策や、エコアクション 21 などの環境対策を取りあげ、実践展開できる知識を身につける。

2-7 環境関連資格取得推進講座

国家資格の取得を目指す方のための試験対策講座。公害防止管理者試験対策、危険物取扱者 乙種 4 類試験対策の 2 講座を開催する。

2-8 ISO 診断・指導セミナー

ISO9001（品質 ISO）や ISO14001（環境 ISO）を取得した企業に対して実際の業務での活かし方などを指導する出前セミナーを開催する。

2-9 技術・技能 Web セミナー

切削加工や溶接、塗装作業や機械の操作方法は、セミナーだけでは伝わりにくいテクニックやノウハウが多くある。そこで、実際の作業を行っている動画を Web 配信し、作業の効率化や技能の向上に役立てていただく。

3

経営強化・労務対策推進事業

企業の持続的発展のためには、限られた経営資源（ヒト・モノ・カネ）をいかに活用し、パフォーマンスを高めていくかが大きな課題である。日本の人口は減少の一途を辿り、国内需要の縮小は避けられず、労働力確保の難しさもこれから深刻化してくる。飽和状態にある市場では受注獲得に向けた競争もますます激しくなり、収益を確保していくには営業力強化とともに経営管理体制の充実も欠かせない。また、成長市場を求めて海外へ打って出ることも必要になってくる。

こうした経営上の課題に対処していく人材の育成、能力開発が本事業の目指すところである。テーマは幅広く、経理および経営管理、人事労務管理、営業戦術、グローバル化対応、さらには従業員個々のスキルアップまでもが含まれる。個別の職務や階層に合わせた研修講座、セミナーを開催することにより、生き残りをかけて経営革新に取り組もうとする企業を支援していく。

3-1 人事管理実務研修

労働関係法令の理解を促し、各種手続き業務をはじめ、従業員の採用や人事考課、賃金、処遇など、人事労務に関するテーマを全般的に取りあげる。

- 〔テーマ例〕
- ・人事労務管理基礎コース
 - ・賃金制度 再設計の進め方
 - ・労務トラブル対策
 - ・年末調整の実務 など

3-2 営業強化実務研修

基本的な営業マナーや商談・交渉スキルといったすべての営業社員に必要な能力と、管理職として組織をまとめるマネジメントスキルなど、階層ごとに求められる能力を習得する。

- 〔テーマ例〕
- ・営業実践力強化プログラム
 - ・営業トークの基本と実践
 - ・展示会で成果をあげる営業のやり方・「与信管理」基礎研修 など

3-3 国際ビジネス実務研修

事業のグローバル化対応のためのセミナーを開催。経営者層には意思決定や戦略立案につながるテーマを、実務者向けには貿易書類の作成、法律知識などのテーマを取りあげる。

- 〔テーマ例〕
- ・海外事業展開の必須知識
 - ・輸出入通関手続きの基本 など

3-4 階層別能力開発研修

経営目標の達成に向けた各自の責任・役割の自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を整理する。立場に応じた職責を全うするための要諦を演習やグループ討議を通じて指導する。

- 〔テーマ例〕
- ・部長／課長／係長／主任研修
 - ・若手社員研修 など

3-5 業務・職務実践力向上研修

労働生産性の向上は直接部門だけの問題ではなく、今後は間接部門でも取り組むべき課題である。総務部門や経理部門など、ホワイトカラー向けの研修を開催する。

- 〔テーマ例〕
- ・チームマネジメントの実践
 - ・ホワイトカラーの生産性向上
 - ・スピードアップ仕事術
 - ・タイムマネジメント実践セミナー など

3-6 経営管理実務研修

経営管理機能の強化を目指して、経営者・経営幹部・管理スタッフを対象に、具体的な実務課題を取り扱った研修を開催する。

- [テーマ例]
- ・損益分岐点分析活用セミナー
 - ・経営の見える化
 - ・決算書の読み方 など

3-7 経営リスク対策セミナー

情報提供の一環として、人材に関する課題・悩みを解消するためのヒントを掴んでいただくテーマ、ならびに企業が抱えるさまざまな経営リスクに対する対策を学ぶテーマを取りあげる。各部門の実務担当者を対象とした具体的かつ詳細なセミナーを複数回にわたり開催する。

- [テーマ例]
- ・メンタルヘルスケアの考え方
 - ・労働災害の予防策
 - ・自然災害とBCP
 - ・ネットセキュリティ など

3-8 創造力開発セミナー

経営あるいは事業展開に求められる先見性や創造性といったヒューマンスキルを身につけることを目的に、アイデア発想、論理的思考といったテーマを設定。将来の経営を担う中堅社員を主な対象とし、実践的なトレーニングに力点を置いたセミナーを開催する。

- [テーマ例]
- ・ブレインストーミング
 - ・TRIZ
 - ・ロジックツリー
 - ・グルーピング親和図法 など

3-9 就業規則診断・指導セミナー

働き方改革という大きな流れのなかで、従来の就業規則を見直す必要に迫られる企業も多い。そこで、社会保険労務士などの専門家を企業に派遣し、最新の労働関係法令を解説しながら、当該企業の就業規則の改訂方法を指導する出前セミナーを実施する。

3-10 接遇スキル診断・指導セミナー

事務部門や営業部門の方を対象として、接遇について指導する出前セミナーを開催。顧客や来訪者との信頼関係を構築するための対応（コミュニケーション）について指導する。

3-11 ハラスメント診断・指導セミナー

ハラスメントにはどのような種類があり、どのように対策していくのかを指導する。経営幹部、管理職クラスを対象とした出前セミナーを開催。

3-12 経営実務 Web セミナー

経営管理の実務課題、マネジメントやマーケティングの手法、営業・販売の強化戦略、人材育成やリーダーシップといったテーマを取りあげ、動画を Web 配信して学びの場を提供する。

4

経営交流・技術交流推進事業

グローバルな経済環境の変化が激しい昨今、変化に即応した経営革新の促進や世界のビジネス環境の変化をとらえた経営が必要となる。そうした情報を得られる場として講演会・研究会を開催。異業種・異分野の多彩な企業、かつ規模の大小を問わずさまざまな企業が集うのは当協会ならではの特色である。その相互理解を促し、そこから新たなビジネスのヒントを得ていただく。

4-1 経営革新講演会

経営者を対象とした「経営セミナー」、工場長・工場幹部を対象とした「工場長大会」、営業マンを対象とした「営業マン大会」、人事総務部門を対象とした「人材活性化フォーラム」の4つの大会・フォーラムを開催。講演者の事例を交えた講演を通して事業活動におけるヒントを提供する。あわせて、参加者同士の相互交流の場も設定する。

4-2 国際経営講演会

グローバル化がますます進展し、今後のグローバル展開は避けては通れない課題となっている。進出地域の多様化が進む昨今、各地域の市場・顧客特性を把握することが重要である。世界のビジネス環境の変化をとらえ、知識・情報をアップデートする機会を提供する。

4-3 RPA 研究会

事務作業の効率化を図る手段として RPA (Robotic Process Automation) が注目されている。RPA で何ができるのか、導入するにあたって検討することは何か、さまざまな情報を提供する。

5

経営支援・会員交流推進事業

新しい知識・情報を得るだけでなく、参加者相互の交流および連携の促進を図る研究活動を主体とした事業である。

企業活動にあたって必要となるさまざまな経営課題、製造業では欠かせない生産技術や加工技術、また話題の新しい技術など、ユニークなテーマを設けた研究会を多数開催。中長期にわたり1つのテーマに沿って定例会合を開き、講義一辺倒ではなく、参加者間の意見交換や情報交流を盛り込んで相互研鑽を図る。

その他、実際に現場を見ることで工場の運営や現場の改善といったさまざまな問題解決のヒントを得ることができる国内工場の見学会、海外の状況や現地での工場運営について知見を得る海外視察研修も開催する。

また、会員事業所間の有機的な連携と強調を促進するため、経営支援および会員交流に関わる事業を積極的に展開していく。

5-1 大阪府工業技術大学講座

後援／大阪府

1年間にわたる技術者育成研修。次代の技術力を担う若手・中堅技術者を対象に、機械系の工学基礎理論から応用技術知識までの修得、さらに高度な先端技術への理解を深めることを目的として、講義、実習、見学を行う。昭和36年以来毎年継続して開講しており、これまでに2,500名を超える修了生を送り出してきた。就業と研修の両立のため、講義は夜間に実施。大学の機械系学部に準じた基礎・専門科目をじっくり学ぶとともに、旋盤・溶接・CADなどの実技科目、実際のものづくり現場に触れる見学科目を組み合わせ、技術者としての総合力を養う。今年度は、より実学指向を目指して講義内容を見直すとともに、企業の実務者が講師を務める特別講義科目では、最近のトピックをテーマに再編。また、見学研修の訪問先再選定を行うなどプログラムの充実を図り、第60期として実施する。(4月開講～翌年3月修了。計130日間)

〔講義研修〕材料力学、金属材料、機械要素、製図、加工技術など22科目
(大阪府立大学大学院工学研究科の教授を中心に講師を招聘)
特別講義として、知的財産、3Dプリンタ、生産革新など6科目

〔実技研修〕NC旋盤、油空圧、溶接、CADなど8コースを設定(選択制)
(ポリテクセンター関西・兵庫の実習施設にて実施)

〔見学研修〕ダイキン工業㈱、(株)西島製作所、OKK㈱など10社を訪問

5-2 新入社員教育講座

新入社員に社会人としての自覚を促すとともに、働くうえで必要な基本行動・知識を修得させる。総合基礎教育のほか、職種別の導入教育やビジネスマナー研修を実施。さらに、機械金属・プラスチックメーカーに的を絞った専門知識を修得できる研修、規律や礼儀を身につけさせる禅寺合宿研修など、多様なニーズに合わせたカリキュラムを提供する。

5-3 経営力強化研究会

変化の激しい時代には、自身の目と耳での確かな情報を収集することが欠かせない。そこで、新たな市場領域の開拓、異分野でのビジネスチャンスの獲得、あるいは生産システムの再構築など、事業の新展開につながるヒントを得るため、以下に挙げるようなさまざまな研究会を開催。個々の企業ではなかなか得られない情報に触れる機会を提供する。

「最新自動車テクノロジー研究会」(新規)

自動車業界の技術革新が部品メーカーを含めた産業全体へ及ぼす影響は非常に大きい。本研究会では電動化、自動運転、新素材の採用による軽量化、コネクテッドカーといった技術革新に関する最新の情報を提供する。

「介護・福祉機器産業参入研究会」(新規)

介護・福祉機器産業への需要が高まり、各企業の参入が活発になってきた。製品開発の流れや事業展開をすすめるにあたってのヒントを提供する場として企画。

「試作モデル(プロトタイプ)製作研究会」(新規)

昨今は3Dプリンタの登場により、試作モデル(プロトタイプ)製作のプロセスも変化してきている。本研究会では試作モデルを製作するにあたり必要となる、意匠性や材料特性などを広く学ぶ場を提供する。

「進化する次世代の工場 最新技術研究会」

ものづくりは今、世界的に大きな変革の時を迎えている。先進企業では、それぞれのニーズに合う一品一様の製品を大量生産と同等レベルの効率やコストで作る生産方式へと進化しつつあり、オンデマンド生産、パーソナライズ化、スマートファクトリー化などといったキーワードで語られている。これらのものづくりを可能とするのは、最新ロボット技術やFAシステム、デジタル機器などに代表される最新テクノロジーである。本研究会では、次世代の工場をテーマに、生産現場のIT化・IoT化、ロボット活用などの事例を紹介する。

「AI(人工知能)研究会」

新たなサービスやビジネスの創出、製造現場の労働力確保、付加価値生産性の向上、熟練者の技能の継承といった、さまざまな課題に対し、AI(人工知能)実用化による解決に大きな期待が寄せられている。そこで、AIで何が変わり、何ができるのかを探り、工場はもとより企業全体でのAI活用に向けたヒントを提供する。

「知的財産研究会」

企業における法務や知的財産担当者、研究・開発部門スタッフ、および弁護士・弁理士などの専門家を対象に全10回の研究会を開催。運営にあたって大阪工業大学知的財産学部と連携し、これからの知財保護・活用戦略を掘り下げて考える。テーマは昨今関心の高いパテントマップやオープンイノベーション、デジタル時代における知財活動などを幅広く取りあげる。

「物流効率化研究会」

インターネット販売の拡大や、人手不足による輸送コストの上昇など、物流部門の業務効率化が喫緊の課題となっている。本研究会では、庫内作業の見直しや予測技術を活用した庫内最適化、物流部門の人材育成といったテーマを取り上げ、物流部門の業務効率化について研究する場を提供する。

5-4 現場力強化研究会

日本が世界に誇れる分野であるものづくりをさらに磨きあげるには、現場の知恵と工夫による改善活動に注力しつつ、最新技術を追求する必要がある。ものづくり現場における環境の変化と革新に対応できるよう、ユニークかつ豊富な事例と実践知識を学ぶ場として研究会を開催する。

「工作機械加工技術研究会」

工作機械と加工技術は高精度、高効率など時代の要請に合わせて進化を続けており、国際的な企業間競争を勝ち抜くために、より一層技術レベルの向上が図られている。そこで、工作機械や工具メーカーによる講演や工場見学を開催し、最新の情報を得る場を提供する。

「簡易自動化研究会」

お金をかけずに現場の知恵を結集し、手軽にでき、そして大きな効果を生む簡易自動化を取りあげた研究会を開催する。ものの重力やてこの原理、ぜんまいや滑車などのからくり機構と、モータやセンサなどの制御機器を活用し、絶大な効果をあげた具体的な事例に触れ、工場の体質強化に役立てる。

「生産技術者スキルアップ講座」

かつてものづくり大国と呼ばれた日本であるが、現在は中国をはじめとする新興国の台頭や、価格競争の激化により、さらなる高効率化、高付加価値化が必要不可欠である。そこで、強いものづくり体質をつくる要となる生産技術者を対象とした講座を開催。生産技術者が知っておくべき技術知識、管理知識のほか、自動化やIoT化、柔軟で高効率な生産ラインの構築などをテーマに、強い現場をつくるヒントを提供する。

「生産支援ロボット研究会」

危険作業や重労働の作業改善ツールとして、あるいは労働人口減少に対応するため、生産現場でのロボットの活用が年々増加している。AI搭載の協働ロボットやウェアラブルロボット、品質のばらつきをなくす検査ロボットなど、実際に活用している企業の事例を中心に、そのメリットや導入にあたって留意すべき点などを学ぶ。

「工場経営研究会」

ものづくり企業の経営幹部・工場責任者が一同に会し、ディスカッションや情報交換により相互研鑽を図る。企業規模や事業内容が違っても、製造業の経営の一翼を担う者として共通する課題を取りあげ、全18回の研究会を開催。各回のテーマは、生産管理や改善手法など工場に不可欠な実務知識から、財務・法務問題、人事労務、人材育成までを幅広く網羅している。将来にわたって事業を継続させていくための先導者として、経営感覚を身につけるとともに、経営の視点から工場全体を統括・マネジメントできる力を高めていく。

5-5 新技術研究会

需要の変動に対応し、変種変量生産を機敏にこなす工場や、オンリーワン技術で強みを発揮する工場、海外生産拠点のマザー機能を発揮する工場など、国内生産で強い競争力を持つ工場はまだ数多く存在し、日本のものづくりの底力を体現している。こうしたメーカーの現場見学と技術講演を行い、独自のコンセプトを見る・聴く・学ぶことによって最新の技術動向を掴み、今後の経営や工場運営に役立つ情報を吸収する。

5-6 施設と工場見学研修

異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者あるいは技術者の情報収集ニーズに応じていく。三現主義という言葉があるように、机上の論理ではなく、「現場」で「現物」を観察し「現実」を認識したうえで問題解決を図ることが重要である。とくに、ものづくりにおいては現場から学ぶことが多く、生産性の向上、製品の改良、新製品開発のヒントも現場でこそ見出すことができる。工場以外に、研究機関や物流施設などへも訪問する。

5-7 海外産業視察研修

日本企業の海外事業所や現地メーカーを訪問し、実際の姿を見聞、学ぶ機会を提供する。国外の経済情勢は刻々と変化しており、「百聞は一見に如かず」の言葉どおり、現地を訪れることには大きな意義がある。海外のものづくり現場の実地見学および現地法人責任者とのディスカッションを通して、マスメディアでは得られない活きた情報を掴む。

5-8 機関誌商工振興刊行

大阪府商工労働部監修

会員事業所へのインタビュー記事や、専門家による解説記事、行政からの広報などを収録し、毎月1回発行。会員企業の情報を発信する紙面をつくることを目指し、「会員企業訪問」や「私が大切にしている言葉」「私のお薦めの一冊」「意外な当社製品を紹介します」といった記事を掲載。また、「カイゼンできる人づくりで生産性倍増」「工場での品質・安全トラブル未然防止」といった協会ならではの記事も掲載する。

5-9 経営指導と情報提供

会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行うほか、社内研修の要望に対しては、ニーズに合ったカリキュラムの編成から講師派遣までをサポート。従業員の自己啓発・自主活動に対しては、通信教育講座および研修用DVD教材の貸し出し等により対応する。さらに、会員事業所を対象とした参加無料の講演会を開催し、時宜に応じたテーマを取りあげ、経営に役立つ情報を発信していく。

5-10 優良従業員表彰

会員事業所における従業員の勤労意識増進を図るため、昭和37年より毎年実施している「優良従業員表彰」。永年勤続かつ他の模範となる従業員として事業主から推薦を受けた者を選考し、会長名による表彰を行う。

5-11 展示商談会

会員事業所と大手メーカーとをつなぐマッチング事業として、会員事業所が持つ技術・製品を直接アピールする「展示商談会」を2015年より開催。毎年30～50ブースを設け、大手メーカーの調達・技術担当者や関連サプライヤーへの販路開拓を支援する。

5-12 経営者・経営幹部交流会

経営者や経営幹部、各部門の幹部層の相互交流の場として、「経営セミナー」「工場長大会」「人材活性化フォーラム」「営業マン大会」を開催する。また、若手経営者の交流・研鑽の場である「朝活」を開催する。

5-13 会員交流と懇談会

新春年賀交歓会やゴルフコンペ（春秋の2回）などを開催。肩ひじ張らない自由な雰囲気の中で会員同士の相互理解。親睦を深める。

5-14 会員名簿刊行

会員事業所の紹介と会員の相互交流を図ることを目的に、所在地、従業員数、事業内容などの現状調査を行い、会員名簿を刊行する。